



## レポートのフィールドリファレンス

このセクションでは、Prime Infrastructure のレポート内のページのフィールドについて説明します。内容は次のとおりです。

- 「レポート ラウンチ パッド」 (P.D-1)
- 「Scheduled Run Results」 (P.D-5)
- 「Saved Report Templates」 (P.D-5)
- 「レポート結果」 (P.D-6)

### レポート ラウンチ パッド

次の表で、[Report] > [Report Launch Pad] > [Report Type] > [New] ページのフィールドについて説明します。

- 表 D-1 : 設定およびスケジュール
- 表 D-2 : カスタム レポートの作成

### [Report Launch Pad] > [Report Type] > [New]

表 D-1 で、[Report] > [Report Launch Pad] > [Report Type] > [New] ページのフィールドについて説明します。

表 D-1 [Report Launch Pad] &gt; [Report Type] &gt; [New Field Descriptions]

フィールド	説明
<b>Settings</b>	
Create reports in current and each sub Virtual Domains	<p>現在の仮想ドメインだけでなく、各サブ仮想ドメインでもレポートを作成する場合、このチェックボックスをオンにします。仮想ドメインの名前、電子メールアドレス、タイムゾーンなど仮想ドメインに関する詳細を表示するには、[View applied Virtual Domains] リンクをクリックします。</p> <p>(注) このチェックボックスをオンにしており、レポートがスケジュールされていない場合、レポートテンプレートは作成されてすべてのサブドメインに保存されますが、レポートは実行されません。一方、[Create reports in current and sub Virtual Domains] チェックボックスをオンにし、レポートをスケジュールした場合、レポートはすべてのサブドメインにスケジュールされ、スケジュールされた時間に実行されます。</p> <p>(注) このチェックボックスをオンにした場合は、レポートの保存のみが可能であるため、実行、実行して保存、保存してエクスポート、保存して電子メール送信など、他のオプションは、いずれもレポート詳細ページに表示されません。つまり、レポートは、サブドメインでだけ、作成と実行のスケジューリングが可能です。</p> <p>(注) レポートの作成時間はシステムごとに異なるため、レポートの作成とレポートの実行の間には十分な時間間隔 (30 分以上) が必要です。</p>
Report Title	<p>レポート名を入力します。</p> <p>(注) [Create reports in current and each sub Virtual Domains] チェックボックスをオンにした場合、このレポートタイトルの末尾に <i>VirtualDomainName</i> が付加されます。この <i>VirtualDomainName</i> は、レポートが生成された仮想ドメインの名前です。</p>
Report By	ドロップダウンリストから適切な [Report By] カテゴリを選択します。カテゴリはレポートごとに異なります。
Report Criteria	このフィールドでは、事前に選択した [Report By] に応じて、結果をソートできません。[Edit] をクリックして [Filter Criteria] ページを開き、必要なフィルタ基準を選択します。
Connection Protocol	<p>次の接続プロトコルのいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• All Clients</li> <li>• All Wired (802.3)</li> <li>• All Wireless (802.11)</li> <li>• All 11u Capable Clients</li> <li>• 802.11a/n</li> <li>• 802.11b/g/n</li> <li>• 802.11a</li> <li>• 802.11b</li> <li>• 802.11g</li> <li>• 802.11n (5 GHz)</li> <li>• 802.11n (2.4 GHz)</li> </ul>

表 D-1 [Report Launch Pad] &gt; [Report Type] &gt; [New Field Descriptions] (続き)

フィールド	説明
SSID	すべての SSID がデフォルト値です。
Reporting Period	[Select a time period] オプション ボタンを選択して、ドロップダウン リストから期間を選択します。 または [From] オプション ボタンを選択して、開始日時と終了日時を入力します。テキスト ボックスに日付を入力するか、カレンダー アイコンをクリックして日付を選択できます。ドロップダウン リストから時間と分を選択します。
Show	レポートに表示するレコード数を入力します。 <b>(注)</b> 5 ~ 1000 までの数値を入力するか、テキスト ボックスを空白のままにするとすべてのレコードが表示されます。
<b>Schedule</b>	
Scheduling	設定したスケジュールに従ってレポートを実行するには、[Enable] チェックボックスをオンにします。
Export Format	レポート実行後にレポート結果をエクスポートする形式として [CSV] または [PDF] を選択します。 <b>(注)</b> CSV ファイルおよび PDF ファイルのデフォルトの場所は、次のとおりです。  <code>/ncs-ftp/reports/Inventory/Report洗TitleName_yyyymmdd_HHMMSS.csv</code> <code>/ncs-ftp/reports/Inventory/Report洗TitleName_yyyymmdd_HHMMSS.pdf</code>
Destination	宛先タイプ (ファイルまたは電子メール) を選択します。該当するファイルの場所または電子メール アドレスを入力します。 <b>(注)</b> [Create reports in current and each sub Virtual Domains] チェックボックスをオンにすると、[Email] オプション ボタンではなく、[Email to default Contact in each Virtual Domain] オプション ボタンが表示されます。[View Contacts] リンクをクリックすると、各仮想ドメインの電子メール ID を表示できます。 <b>(注)</b> 電子メール用のメール サーバセットアップを設定するには、[Administration] > [Settings] を選択し、左側のサイドバーのメニューの [Mail Server] を選択して [Mail Server Configuration] ページを開きます。SMTP およびその他の必要な情報を入力します。 <b>(注)</b> サブ仮想ドメインの電子メール アドレスが指定されていない場合は、現在の仮想ドメインの電子メール アドレスが指定されていれば、この現在の仮想ドメインのアドレスが使用されます。

表 D-1 [Report Launch Pad] &gt; [Report Type] &gt; [New Field Descriptions] (続き)

フィールド	説明
Start Date/Time	<p>表示されるテキスト ボックスに日付を入力するか、カレンダー アイコンをクリックして、日付を選択できるカレンダーを開きます。時間と分のドロップダウン リストから時刻を選択します。このデータに対するレポートの実行が、この日時に開始されます。</p> <p>(注) ここで指定する時間は、Prime Infrastructure サーバの時間であり、ブラウザの現地時間ではありません。</p> <p>(注) [Create reports in current and each sub Virtual Domains] チェックボックスをオンにした場合は、[Use Virtual Domain time zone] チェックボックスが表示されます。仮想ドメインのタイム ゾーンをタイム ゾーンとして使用する場合は、このチェックボックスをオンにします。さまざまな仮想ドメインのタイム ゾーンを表示するには、[View time zones] リンクをクリックします。</p>
Recurrence	<p>次のオプションからレポート実行の頻度を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [No Recurrence] : レポートは 1 度だけ実行されます ([Start Date/Time] で示した時間に実行)。</li> <li>• [Hourly] : レポートは、[Entry] テキスト ボックスに入力する時間数で示す間隔で実行されます。</li> <li>• [Daily] : レポートは、[Every] テキスト ボックスに入力する日数で示す間隔で実行されます。</li> <li>• [Weekly] : レポートは、[Every] テキスト ボックスに入力する週数およびチェックボックスをオンにした曜日に実行されます。</li> <li>• [Monthly] : レポートは、[Every] テキスト ボックスに入力する月数で示す間隔で実行されます。</li> </ul>

## [Report Launch Pad] > [Report Type] > [New] > [Customize]

表 D-2 で、[Report] > [Report Launch Pad] > [Report Type] > [New] > [Customize] ページのフィールドについて説明します。

表 D-2 [Report Launch Pad] &gt; [Report Type] &gt; [New] &gt; [Customize Field Descriptions]

フィールド	説明
Custom Report Name	<p>ドロップダウン リストからカスタマイズするレポートを選択します。</p> <p>(注) [Available data fields] 列と [Data fields to include] 列の見出しの選択項目は、選択したレポートにより異なる場合があります。</p>
Report View	<p>レポートの表示形式 (表形式、グラフ形式、または結合形式 (両方)) を指定します。</p> <p>(注) このオプションは、一部のレポートでは使用できません。</p>
Available data fields/Data fields to include	<p>[Add &gt;] ボタンおよび [&lt; Remove] ボタンを使用して、[Available data fields] 列と [Data fields to include] 列の間で強調表示したフィールドを移動します。</p> <p>(注) [Data fields to include] 列に青色のフォントで表示されるフィールドは、[Custom Report Name] フィールドで選択したレポートの必須フィールドです。</p>

表 D-2 [Report Launch Pad] &gt; [Report Type] &gt; [New] &gt; [Customize Field Descriptions] (続き)

フィールド	説明
[Change order] ボタン	[Move Up] ボタンおよび [Move Down] ボタンを使用して、結果テーブル内の列の順序を決定します。[Selected Columns] リストで上方の列見出しが、結果表の左方に表示されます。
Data field sorting	<p>ソート設定を指定します ([Ascending] または [Descending])。レポート データのソート方法を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ソート順序を指定できる 4 つのデータ フィールドを選択できます。[Sort by and Then by] ドロップダウン リストを使用して、ソート用の各データ フィールドを選択します。</li> <li>各ソート対象データ フィールドについて、昇順でソートするか降順でソートするかを選択します。</li> </ul> <p>(注) 表形式のレポートのみソートできます (グラフおよび複合形式は不可)。ソートできるフィールドのみが [Data field sorting] ドロップダウン リストに表示されます。</p> <p>(注) [Create Custom Report] ページに表示される [Sortable fields] には、[Data fields to include] ペインにあるデータ フィールドだけでなく、ソート可能なすべてのフィールドがリストされます。レポートは、対応する列がレポートに表示されない場合でも、選択したデータ フィールドに基づいてソートされます。</p>

## Scheduled Run Results

表 D-3 で、[Report] > [Scheduled Run Results] ページのフィールドについて説明します。

表 D-3 [Scheduled Run Results] のフィールドの説明

フィールド	説明
Report Category	ドロップダウン リストから適切なレポート カテゴリを選択するか、[All] を選択します。
Report Type	ドロップダウン リストから適切なレポート タイプを選択するか、[All] を選択します。レポート タイプの選択項目は、選択したレポート カテゴリに応じて変わります。
From/To	レポートの開始日 ([From]) と終了日 ([To]) をテキスト ボックスに入力するか、カレンダー アイコンをクリックして開始日と終了日を選択します。
Report Generation Method	次のオプションからいずれかのレポート生成方式を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Scheduled</li> <li>On-demand Export</li> <li>On-demand Email</li> </ul>

## Saved Report Templates

表 D-4 で、[Report] > [Saved Report Templates] ページのフィールドについて説明します。

表 D-4 [Saved Report Templates] のフィールドの説明

フィールド	説明
Report Category	ドロップダウンリストから適切なレポートカテゴリを選択するか、[All] を選択します。
Report Type	ドロップダウンリストから適切なレポートタイプを選択するか、[All] を選択します。レポートタイプの選択項目は、選択したレポートカテゴリに応じて変わります。
Scheduled	[All]、[Enabled]、[Disabled]、または [Expired] を選択して、スケジュールされたステータスによって [Saved Report Templates] リストをフィルタします。

## レポート結果

ここでは、[Report] > [Report Launch Pad] > [Report Type] > [New] > [Customize] > [Create Custom Report] ページでのレポートのカスタマイズ方法に基づき、各種レポートタイプで表示される結果について説明します。ここでは、次の内容について説明します。

- 「クライアント レポート」 (P.D-6)
- 「デバイス レポート」 (P.D-10)

## クライアント レポート

次の表で、各種クライアント レポートの結果に表示されるフィールドについて説明します。

- 表 D-5 : Busiest Clients レポートの結果
- 表 D-6 : Client Sessions レポートの結果
- 表 D-7 : Client Traffic Stream Metrics レポートの結果
- 表 D-8 : Unique Client レポートの結果
- 表 D-9 : CCX Client Statistics レポートの結果

## Busiest Clients レポートの結果

表 D-5 で、Busiest Clients レポート生成時に表示される可能性のある結果について説明します。

表 D-5 Busiest Clients レポート結果のフィールドの説明

フィールド	説明
Client MAC Address	クライアントの MAC アドレス。
IP Address	クライアントの IP アドレス。このフィールドには、IPv6 クライアントの場合は IPv6 アドレス、IPv4 およびデュアルスタック クライアントの場合は IPv4 アドレスが表示されます。
Protocol	802.11a/n または 802.11b/g/n。
Throughput	Mbps または kbps。 (注) スループットが 0.1 kbps 未満の場合は、「<0.1 kbps」が表示されます。
Global Unique	IPv6 アドレスの集約グローバルユニキャストアドレス。このフィールドには、クライアントにグローバル固有 IPv6 アドレスが割り当てられている場合のみ値が入力されます。
Local Unique	IPv6 アドレスのローカルユニキャストアドレス。このフィールドには、クライアントにローカル固有 IPv6 アドレスが割り当てられている場合のみ値が入力されます。

表 D-5 Busiest Clients レポート結果のフィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
Link Local	IPv6 アドレスのリンクローカルユニキャストアドレス。このフィールドには、クライアントにリンクローカル IPv6 アドレスが割り当てられている場合のみ値が入力されます。
On Device	クライアントが配置されているデバイス。
Bytes sent (MB)	送受信されたバイト数 (MB)。
Bytes received (MB)	(注) この値が 1,000,000,000 を超える場合は、値の末尾に G が追加されます (例: 3.45 G)。この値が 1,000,000 を超え、1,000,000,000 未満の場合は、値の末尾に M が追加されず (例: 456.8 M)。
Packets sent	送受信されたパケット数 (MB)。
Packets received	(注) この値が 1,000,000,000 を超える場合は、値の末尾に G が追加されます (例: 3.45 G)。この値が 1,000,000 を超え、1,000,000,000 未満の場合は、値の末尾に M が追加されず (例: 456.8 M)。

## Client Sessions レポートの結果

表 D-6 で、Client Sessions レポート生成時に表示される可能性のある結果について説明します。

表 D-6 Client Sessions レポート結果のフィールドの説明

フィールド	説明
Client Username	このクライアントのユーザ名。
IP Address	このクライアントの IP アドレス。
MAC Address	このクライアントの MAC アドレス。
Association Time	このクライアントがアソシエートされた日時。
Access Point Name	このクライアントが割り当てられたアクセス ポイントの名前。
Map Location	クライアントがあるビルディング、フロア領域、または屋外領域 (該当する場合)。
SSID	このクライアントがアソシエートされた SSID。
Profile	このクライアントがアソシエートされたプロファイルの名前。
VLAN ID	VLAN ID。範囲は 1 ~ 4096 です。
Protocol	802.11a、802.11b、802.11g、802.11n_5GHz、または 802.11b_2.4GHz。
Policy Type	このクライアントセッションのセキュリティポリシーのタイプ。
Host Name	このクライアントが配置されているマシンの DNS ホスト名。  Prime Infrastructure は、DNS ルックアップを実行して、クライアント IP アドレスからホスト名を解決します。IP アドレスとホスト名のマッピングが、DNS サーバで定義されている必要があります。デフォルトでは、ホスト名のルックアップは無効です。ホスト名のルックアップを有効にするには、[Administration] > [Settings] > [Clients] を使用します。
Global Unique	IPv6 アドレスの集約グローバルユニキャストアドレス。このフィールドには、クライアントにグローバル固有 IPv6 アドレスが割り当てられている場合のみ値が入力されます。
Local Unique	IPv6 アドレスのローカルユニキャストアドレス。このフィールドには、クライアントにローカル固有 IPv6 アドレスが割り当てられている場合のみ値が入力されます。
Link Local	IPv6 アドレスのリンクローカルユニキャストアドレス。このフィールドには、クライアントにリンクローカル IPv6 アドレスが割り当てられている場合のみ値が入力されます。
CCX	Cisco Client Extension のバージョン番号。

表 D-6 Client Sessions レポート結果のフィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
AP MAC Address	アクセスポイントの MAC アドレス。
AP IP Address	アクセスポイントの IP アドレス。
AP Radio	アクセスポイントの無線タイプ。
Device IP Address	このクライアントがアソシエートされたデバイスの IP アドレス。
Device Port	このクライアントがアソシエートされたデバイスのポート番号。
Anchor Controller	モビリティクライアントのアンカーまたは外部コントローラの IP アドレス (該当する場合)。
Association ID	このクライアントセッションで使用されたアソシエーション ID。
Disassociation Time	このクライアントのアソシエーションが解除された日時。
Authentication	このクライアントの認証方式。
Encryption Cypher	このクライアントセッションで使用された暗号化。
EAP Type	このクライアントセッションで使用された EAP タイプ。
Authentication Algorithm	このクライアントセッションで使用された EAP タイプ。
Web Security	このクライアントセッションで使用された Web セキュリティ。
Tx and Rx (bytes)	クライアントセッション中に送信または受信されたおおよそのバイト数。
SNR	このクライアントセッションの信号対雑音比。
RSSI	受信信号強度インジケータ (dBm)。
Status	[Associated] または [disassociated]。
Reason	アソシエーション解除の理由。
E2E	バージョン番号または [Not Supported]。

## Client Traffic Stream Metrics レポートの結果

表 D-7 で、Client Traffic Stream Metrics レポート生成時に表示される可能性のある結果について説明します。

表 D-7 Client Traffic Stream Metrics レポート結果のフィールドの説明

フィールド	説明
Time	アクセスポイントから統計情報が収集された時刻。
Client MAC	クライアントの MAC アドレス。これには、過去 90 秒の間隔中に評価されたクライアントのリストが表示されます。クライアントとしては、VoIP 電話、ラップトップ、PDA などがあり、測定値を収集しているアクセスポイントに接続されたすべてのクライアントを示します。
QoS	WLAN に影響を与える可能性のある QoS 値 (パケット遅延、パケットジッタ、パケット損失、ローミング時間) がモニタされます。アクセスポイントおよびクライアントでメトリックを測定し、アクセスポイントで計測結果を収集してこれらをコントローラに送信します。アクセスポイントでは、90 秒ごとにコントローラのトラフィックストリームメトリック情報を更新し、クライアントごとに 10 分間分のデータが WLC に格納されます。Prime Infrastructure は、過去 7 日間のこのデータをポーリングして保存します。
AP Name	このクライアントがアソシエートされたアクセスポイントの名前。
Radio Type	アクセスポイントの無線タイプ。



表 D-7 Client Traffic Stream Metrics レポート結果のフィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
Avg Queuing Delay (ms) (Downlink)	ダウンリンクの平均キューイング遅延 (ミリ秒単位)。パケット キューイング遅延の平均は、音声キューを横断する音声パケットの平均遅延です。パケット キュー遅延は、パケットが送信のためにキューに入れられた時点から、パケットが正常に送信される時点まで測定されます。これには、必要に応じて再試行時間が含まれます。
Avg Queuing Delay (ms) (Uplink)	アップリンクの平均キューイング遅延 (ミリ秒単位)。パケット キューイング遅延の平均は、音声キューを横断する音声パケットの平均遅延です。パケット キュー遅延は、パケットが送信のためにキューに入れられた時点から、パケットが正常に送信される時点まで測定されます。これには、必要に応じて再試行時間が含まれます。
% PLR (Downlink)	90 秒の間隔中にダウンリンク (アクセス ポイントからクライアントへ向かう方向) で失われたパケットの割合。
% PLR (Uplink)	90 秒の間隔中にアップリンク (クライアントからアクセス ポイントへ向かう方向) で失われたパケットの割合。
% Packets > 40ms Queuing Delay (Uplink)	40 ms を超えるキューイング遅延パケットのパーセンテージ。
% Packets 20ms-40ms Queuing Delay (Uplink)	20ms ~ 40 ms のキューイング遅延パケットのパーセンテージ。
Roaming Delay	ローミング遅延 (ミリ秒単位)。クライアントによって測定されるローミング遅延は、古いアクセス ポイントから最後のパケットを受信した時点から、ローミングが正常に行われた後で新しいアクセス ポイントから最初のパケットを受信した時点まで測定されます。

## Unique Client レポートの結果

表 D-8 で、Unique Client レポート生成時に表示される可能性のある結果について説明します。

表 D-8 Unique Client レポート結果のフィールドの説明

フィールド	説明
First/Last Seen	固有クライアントが最初に検出された日時および最後に検出された日時。
User	クライアントのユーザ名。
Vendor	ベンダー名または [unknown]。
Client IP Address	クライアントの IP アドレス。
Client MAC Address	クライアントの MAC アドレス。
AP Name	このクライアントがアソシエートされたアクセス ポイントの名前。
Controller	クライアントがアソシエートされたコントローラ。
Port	このクライアントがアソシエートされたデバイスのポート番号。
802.11	[Associated]、[Disassociated]、または [Idle]。
SSID	このクライアントがアソシエートされた SSID。 (注) クライアントがプロービングを行っている場合は、[SSID] フィールドに「N/A」が表示されます。
Authenticated	クライアントが認証されているかどうかを示します ([Yes] または [No])。
Protocol	802.11a、802.11b、802.11g、802.11n_5GHz、または 802.11b_2.4GHz。
VLAN ID	VLAN ID。範囲は 1 ~ 4096 です。

表 D-8 Unique Client レポート結果のフィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
CCX	CCX (Cisco Client Extensions) がサポートされているかどうかを示します。
E2E	E2E (エンドツーエンド) がサポートされているかどうかを示します。

## CCX Client Statistics レポートの結果

表 D-9 で、CCX Client Statistics レポート生成時に表示される可能性のある結果について説明します。

表 D-9 CCX Client Statistics レポート結果のフィールドの説明

フィールド	説明
Client MAC Address	クライアントの MAC アドレス。
Transmitted Fragment Count	このカウンタは、正常に受信した MPDU データまたは管理タイプごとに増分されます。
Multicast Transmitted Frame Count	このカウンタは、正常に送信された MAC Service Data Unit (MSDU) の宛先 MAC アドレス中でマルチキャスト ビットが設定されている場合にのみ減少します。Extended Service Set (ESS) でステーション (STA) として動作している場合、これらのフレームはアクセス ポイントに送信されます。これは、アソシエートされたすべての MAC Protocol Data Unit (MPDU) に対する確認応答を受信したことを示します。
Failed Count	このカウンタは、MSDU の送信が失敗した場合に、増分されます。
Retry Count	このカウンタは、1 回以上の再送信の後で MSDU が正常に送信された場合に増分されます。
Multicast Retry Count	このカウンタは、複数回の再送信の後で MSDU が正常に送信された場合に増分されます。
Frame Duplicate Count	このカウンタは、Sequence Control フィールドで重複が示されているフレームを受信した場合に増分されます。
RTS Success Count	このカウンタは、RTS (ready-to-send) への応答として CTS (clear-to-send) を受信した場合に増分されます。
RTS Fail Count	このカウンタは、ready-to-send への応答として clear-to-send を受信しない場合に増分されません。
ACK Fail Count	このカウンタは、正常な ACK を受信しなかった場合に増分されます。
Received Fragment Count	長さが 64 オクテット (フレーミング ビットは除外するが、FCS オクテットは含む) 未満の受信済みパケットの総数。
Multicast Received Frame Count	このカウンタは、宛先 MAC アドレスにマルチキャスト ビットが設定された MSDU を受信したときに増分されます。
FCS Error Count	このカウンタは、受信した MPDU でフレーム チェック シーケンス エラーが検出されると増分されます。
Transmitted Frame Count	このカウンタは、MSDU を正常に送信するたびに増分されます。

## デバイス レポート

次の表で、各種デバイス レポートの結果に表示されるフィールドについて説明します。

- 表 D-10 : AP Image Predownload レポートの結果
- 表 D-11 : AP Profile Status レポートの結果
- 表 D-12 : Busiest APs レポートの結果

## AP Image Predownload レポートの結果

表 D-10 で、AP Image Predownload レポート生成時に表示される可能性のある結果について説明します。

表 D-10 AP Image Predownload レポート結果のフィールドの説明

フィールド	説明
AP Name	アクセス ポイントの名前。
Primary Image	AP にある現在のプライマリ イメージ。
Backup Image	AP にある現在のバックアップ イメージ。
Predownload Version	事前ダウンロード プロセスの一部として現在コントローラから AP にダウンロードされているイメージのバージョン。
Predownload Status	事前ダウンロード プロセスの一部であるイメージ ダウンロードの現在のステータス。
MAC Address	AP の MAC アドレス。
Controller IP Address	アクセス ポイントがアソシエートされたコントローラの IP アドレス。
Upgrade Role	アップグレード ロールの現在のステータス。これは次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Master Central</li> <li>• Master Local</li> <li>• Slave Central</li> <li>• Slave Local</li> <li>• Unknown</li> </ul>

## AP Profile Status レポートの結果

表 D-11 で、AP Profile Status レポート生成時に表示される可能性のある結果について説明します。

表 D-11 AP Profile Status レポート結果のフィールドの説明

フィールド	説明
Time	AP プロファイル ステータスの収集日時。
AP Name	アクセス ポイントの名前。
AP MAC Address	アクセス ポイントの MAC アドレス。
Radio Type	802.11a/n または 802.11b/g/n。
Load	[Pass] または [Fail]。負荷レベルがしきい値レベルを超えているかどうかを示します。
Noise	[Pass] または [Fail]。ノイズ レベルがしきい値レベルを超えているかどうかを示します。
Interference	[Pass] または [Fail]。干渉レベルがしきい値レベルを超えているかどうかを示します。
Coverage	[Pass] または [Fail]。カバレッジ レベルがしきい値レベルを超えているかどうかを示します。
Controller Name	アクセス ポイントがアソシエートされたコントローラの名前。
Controller IP Address	アクセス ポイントがアソシエートされたコントローラの IP アドレス。

## Busiest APs レポートの結果

表 D-12 で、Busiest APs レポート生成時に表示される可能性のある結果について説明します。

表 D-12 Busiest APs レポート結果のフィールドの説明

フィールド	説明
AP Name	アクセス ポイントの名前。
Radio Type	802.11a/n または 802.11b/g/n。
Rx Utilization (%)	アクセス ポイント レシーバがパケットの処理でビジーな時間の割合。これは、0 ~ 1 までの負荷を表す 0 ~ 100 までの数値です。
Tx Utilization (%)	アクセス ポイント トランスミッタがパケットの処理でビジーな時間の割合。これは、0 ~ 1 までの負荷を表す 0 ~ 100 までの数値です。
Channel Utilization (%)	アクセス ポイント チャンネルがパケットの処理でビジーな時間の割合。これは、0 ~ 1 までの負荷を表す 0 ~ 100 までの数値です。
Controller Name	アクセス ポイントがアソシエートされたコントローラの名前。
Controller IP Address	アクセス ポイントがアソシエートされたコントローラの IP アドレス。
Map Location	アクセス ポイントがあるビルディング、フロア領域、または屋外領域 (該当する場合)。